



令和6年3月13日

## 令和6年度スーパーサイエンスハイスクールの新規採択校として 基礎枠47校、文理融合基礎枠14校、重点枠4校を内定しました

文部科学省においては、将来の国際的な科学技術人材の育成を図るため、理数系教育に重点を置いた研究開発を行う「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」事業を平成14年度から実施しています。

この度、令和6年度の新規採択に関する審査を行い、基礎枠は47校、文理融合基礎枠は14校、科学技術人材育成重点枠は4校を新規採択校として内定しましたので、お知らせします。

### 1. 基礎枠※ 47校を内定（開発型・実践型：37校、先導的改革型：3校、認定枠：7校）

※基礎枠：自然科学を主とする先進的な理数系教育に関する研究開発を実施し、将来のイノベーションの創出を担う科学技術人材の育成を目指す。

#### 【基礎枠の応募状況、審査方法】

54校（開発型・実践型：42校、先導的改革型：6校、認定枠：6校）から応募があり、外部有識者からなるSSH企画評価会議協力者が書面及びヒアリングにより審査を行った。

※認定枠は書面のみ。

※先導的改革型の不採択校のうち1校を認定枠として採択。

### 2. 文理融合基礎枠※ 14校を内定（開発型・実践型：13校、先導的改革型：1校）

※文理融合基礎枠：社会の諸課題に対応するため、自然科学の「知」と人文・社会科学の「知」との融合による「総合知」を創出・活用した先進的な理数系教育に関する研究開発を実施し、将来のイノベーションの創出を担う科学技術人材の育成を目指す。

#### 【文理融合基礎枠の応募状況、審査方法】

20校（開発型・実践型：19校、先導的改革型：1校）から応募があり、外部有識者からなるSSH企画評価会議協力者等が書面及びヒアリングにより審査を行った。

(参考) 「基礎枠」及び「文理融合基礎枠」における段階

- ①開発型：新規性のある教育課程等の研究開発を実施するもの。
- ②実践型：今までに開発してきた教育課程等の実践的な研究開発を実施するもの。
- ③先導的改革型：科学技術人材育成におけるシステム上の課題を自ら設定し、当該課題に挑戦する意欲的な研究開発を実施するもの。
- ④認定枠：科学技術人材育成の全国的なモデルとしてこれまでの研究開発の成果を基にした多様な実践活動を展開・普及するもの。

※指定期間は原則5年間（③の先導的改革型は3年間）

### **3. 科学技術人材育成重点枠※ 4校を内定**

※科学技術人材育成重点枠：基礎枠及び文理融合基礎枠の取組に加え、科学技術人材の育成に係る更なる取組を行う場合、追加的な支援を行うもの（指定期間 最長5年）

【科学技術人材育成重点枠の応募状況、審査方法】

8校から応募があり、外部有識者からなるSSH企画評価会議協力者等が書面及びヒアリングにより審査を行った。

<担当> 初等中等教育局教育課程課 課長補佐 山本 悟 (内線 2363) 係 員 足立 拓也 (内線 2613) 電話：03-5253-4111 (代表)
---

**スーパーサイエンスハイスクール（SSH）**  
**令和6年度「基礎枠」、「文理融合基礎枠」及び「科学技術人材育成重点枠」内定校**

**1. 基礎枠（47校）**

No.	都道府県	学校名	研究開発課題
<b>【開発型・実践型】（37校）</b>			
1	北海道	北海道滝川高等学校	学びと社会を結び活力ある未来を創造する科学技術系人材の育成
2	北海道	学校法人立命館立命館慶祥高等学校	世界に通用する自律的探究力を備えた人材の育成～北海道と世界の現在進行形課題を題材としたプログラム開発～
3	青森県	青森県立五所川原高等学校	日本のシュリンクしつつある地域に変容と活性化をもたらす科学技術人材育成プログラムの開発
4	宮城県	宮城県古川黎明中学校・高等学校	「大崎耕土」からはじまる「気づき」を深め知の創造に向かうイノベーション人材の育成
5	秋田県	秋田県立横手高等学校	美入野データサイエンスで未来を切り拓く～科学技術系人材育成・評価プログラムの拡充～
6	茨城県	茨城県立緑岡高等学校	社会の作り手としてイノベーションを創出する、科学技術人材育成プログラムの開発
7	群馬県	群馬県立前橋高等学校	イノベティブ・コンピテンシーを育成する科学教育プログラムの開発
8	埼玉県	埼玉県立所沢北高等学校	2050年カーボンニュートラル社会に向けて、地域や社会の持続的発展を牽引する科学技術人材育成のためのカリキュラム開発
9	埼玉県	埼玉県立熊谷西高等学校	科学的思考力と問題解決力を育成し、世界で輝く科学技術人材の育成～埼玉県北部と世界を結ぶ「熊西学びの双方向ライン」～
10	千葉県	千葉県立佐倉高等学校	「ネオ佐倉アクティブ」と「佐倉藩サイエンスフェスティバル」を基盤とした、地域発のグローバル社会で活躍できるサイエンスリーダーの育成
11	千葉県	学校法人芝浦工業大学芝浦工業大学柏中学校高等学校	世界に新たな価値を創造する理工系人材を中高大連携を通して育成するプログラムの開発
12	千葉県	千葉県立船橋高等学校	自立した探究力で「未踏」に挑む人材の育成～深め、繋がり、未来を拓く力を育てる～
13	千葉県	学校法人市川学園市川中学校・高等学校	自立的に取り組みつつ、幅広い視野を備え、新しい領域を切り開く生徒の育成
14	東京都	学校法人山脇学園山脇学園中学校・高等学校	地球市民として行動し、科学・技術者へキャリア選択する女子生徒の育成拠点形成
15	東京都	国立大学法人お茶の水女子大学附属高等学校	科学の力で未来を共創する女性リーダー育成カリキュラムの実践
16	東京都	東京学芸大学附属高等学校	生徒エージェンシーを育む次世代理数カリキュラムの開発と普及
17	神奈川県	神奈川県立相模原高等学校	科学的探究力と国際性を備えた科学技術人材を育成する高大接続プログラムの研究開発
18	神奈川県	神奈川県立多摩高等学校	「Meraki」探究を核として科学的リテラシーと国際性を備えたイノベーション人材を育成する研究
19	新潟県	新潟県立高田高等学校	「第一義」で世界に挑め！～日本を牽引するイノベーション人材の育成～
20	富山県	富山県立富山中部高等学校	Society 5.0 時代において新しい価値を共創できる文理の枠を超えた科学技術系人材育成プログラムの開発
21	福井県	福井県立若狭高等学校	国際的な科学技術イノベーターを育成する「地域資源活用型探究学習発展カリキュラム」の開発と評価
22	静岡県	静岡県立浜松工業高等学校	「令和の日本型学校教育」における、これからの工業高校の在り方を示す先駆的な研究
23	静岡県	静岡市立高等学校	市高科学教育プログラム（Ichiko Science Education Program）の実践・省察・改善の推進
24	静岡県	学校法人静岡理工科大学静岡北中学校・高等学校	サイエンス・イノベーションによって地域の未来を共創する人材の育成
25	愛知県	愛知県立旭丘高等学校	「旭丘STEAMプラットフォーム」による、卓越した総合知を備え、日本の将来を拓き世界を牽引する、科学技術イノベーターの育成
26	三重県	学校法人高田学苑高田中・高等学校	先鋭的な探究能力と包括的な科学的知識によって創造的に社会問題を解決する人材の育成
27	三重県	三重県立桑名高等学校	地球の未来への先駆者となる科学技術人材を創出する「桑高SGPプログラム」の深化
28	三重県	三重県立上野高等学校	伊賀から世界へ！ 深化版「上高みらい探究プログラム」で未来を拓く
29	大阪府	学校法人大阪医科薬科大学高槻高等学校・中学校	グローバルマインドセットを備えた生命科学系リーダーの育成

30	兵庫県	学校法人親和学園親和女子高等学校・親和中学校	中高一貫の女子教育を行う高等学校における国内外を牽引する女子科学者を育成するプログラム開発
31	兵庫県	兵庫県立宝塚北高等学校	科学的な態度で激動の時代に向き合い、豊かな社会を構築する人材育成のためのカリキュラム開発
32	徳島県	徳島県立富岡西高等学校	科学的思考力を持った地域に貢献できるグローバル人材を育成する富西 STEAM 教育プログラムの開発
33	徳島県	徳島県立徳島科学技術高等学校	SCITEC-HI Project Go Beyond! － 将来の科学技術人材へと生徒が主体的に成長するための実践研究開発－
34	宮崎県	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校・附属中学校	未来を切り拓く探究心とレジリエンスを育む科学技術人材育成プログラムの開発
35	鹿児島県	鹿児島県立鹿児島中央高等学校	協働的な活動の中で主導的な役割を担い、科学的な思考によりさまざまな課題を解決できる術を身に付け、未来を担う人材の育成 ～現代の『造士館』を目指してⅡ～
36	沖縄県	沖縄県立向陽高等学校	地域の自然や素材を活用し探究の過程を身につけ、国内外に発信できる Well-Being に繋がる科学人材の育成
37	沖縄県	沖縄県立球陽高等学校・球陽中学校	地域社会の未来を創生するグローバルイノベーション人材の育成

**【先導的改革型】（3校）**

1	愛知県	愛知県立岡崎高等学校	未来社会を切り拓く国際リーダーを育成するための「岡高リベラルアーツ形成・獲得プログラム」の開発
2	宮崎県	宮崎県立宮崎北高等学校	イノベーションを起こす科学技術人材を育成する探究活動システムの開発
3	長野県	長野県屋代高等学校・附属中学校	科学的思考で新たな価値を生み出す人材育成に向けた協創型教育システムの開発

**【認定枠】（7校）**

1	東京都	国立大学法人筑波大学附属駒場高等学校
2	東京都	学校法人東海大学東海大学付属高輪台高等学校
3	長野県	長野県諏訪清陵高等学校・附属中学校
4	岐阜県	岐阜県立恵那高等学校
5	静岡県	静岡県立清水東高等学校
6	奈良県	学校法人西大和学園西大和学園中学校・高等学校
7	高知県	高知県立高知小津高等学校

## 2. 文理融合基礎枠（14校）

No.	都道府県	学校名	研究開発課題
<b>【開発型・実践型】（13校）</b>			
1	福島県	福島県立安積高等学校	チーム安積モデルによる地球的課題解決に向けた国際共創力を有する科学技術系リーダーの育成
2	茨城県	茨城県立竜ヶ崎第一高等学校・附属中学校	「総合知」で地域とともに社会課題を解決し、イノベーション力を育成する真正な教育手法の開発
3	栃木県	栃木県立大田原高等学校	グローバルな視点と総合知の活用により創造性を育む文理融合型課題研究の開発
4	東京都	東京都立国分寺高等学校	文理を融合し、科学的な関心と思考力を高める課題解決型学習の開発に関する実践的研究
5	東京都	東京学芸大学附属国際中等教育学校	IBの教育原理を活かした文理融合教育による、科学的コンピテンシーを備えた“Agents of Change”の育成
6	新潟県	新潟県立柏崎高等学校	海とエネルギーのまち柏崎から総合知を活用して課題を解決する国際性豊かな人材の育成
7	長野県	学校法人松商学園松商学園高等学校	課題を主体的に発見・思考・解決し、新たな価値を創造できる人材育成プログラムの研究開発
8	愛知県	愛知県立時習館高等学校	「異分野×異年齢×異文化」による総合知の獲得をとおしたチェンジ・メーカーの育成
9	愛知県	国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学教育学部附属中・高等学校	サイエンス・エージェンシーを育成するカリキュラムの開発と実践 ～萌えから推し、そしてリアルへサイエンスエコシステムの構築～
10	滋賀県	滋賀県立虎姫高等学校	エージェンシーを育み、新しい時代を牽引する学際的な科学技術人材の育成
11	大阪府	学校法人大阪初芝学園初芝立命館高等学校	持続可能な未来創造に貢献するリーダー育成のための文理融合型科学技術教育の研究開発
12	大阪府	大阪府立住吉高等学校	「まきこむ探究」による文理融合型の総合知を備えた科学技術人材の育成
13	鳥取県	学校法人湯梨浜学園湯梨浜学園中学校・高等学校	地域の活力を引き出し恒久的な環境保全を実現する科学的な人材を育成する教育プログラムの開発
<b>【先導的改革型】（1校）</b>			
1	福井県	福井県立藤島高等学校	文理融合のための共通基盤と専門知を備えた科学技術・イノベーション人材の育成システム確立と普及

## 3. 科学技術人材育成重点枠（4校）

No.	都道府県	学校名	研究開発課題
1	茨城県	茨城県立竜ヶ崎第一高等学校・附属中学校	最先端のデータ・デジタル技術を用い科学的に社会課題解決を行う探究手法の開発
2	愛知県	国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学教育学部附属中・高等学校	高大接続による世界に伍する自立した高校生の育成 ～コトモノ TOKAI IMPACT「ときとき」から「とっきんとっきん」へ～
3	京都府	学校法人立命館立命館高等学校	理系グローバル人材育成のための教員協働体制の構築～国際科学教育の普及を目指して～
4	大阪府	大阪府立天王寺高等学校	普及の広域化による科学技術人材育成の相乗効果～連携校のブースターとしての取組～



## 背景・課題

○将来にわたり、日本が科学技術分野で世界を牽引するためには、イノベーションの創出を担う、科学技術人材の育成を中等教育段階から体系的に実施することが不可欠。

### 「第6期科学技術・イノベーション基本計画」(令和3年3月26日閣議決定)

・ スーパーサイエンスハイスクール (SSH) において、科学技術人材育成システム改革を先導するような卓越した研究開発を進めるとともに、SSHのこれまでの研究開発の成果の普及・展開に向けて、2022年度を目途に一定の実績を有する高校等を認定する制度を新たに創設し、その普及を図ることなどにより、STEAM教育を通じた生徒の探究力の育成に資する取組を充実・強化する。

### 「経済財政運営と改革の基本方針2023」(令和5年6月16日閣議決定)

・ デジタル化やグローバル化など社会の急速な変化への対応を加速し、文理の枠を超えた多様性のあるイノベーション人材の育成強化や国際的な人的交流の活性化を図る。その際 (略) 文理横断的な大学入学者選抜・SSH等による学びの転換の促進 (略) を図る。

## 事業概要

〔事業開始：平成14年度〕

### 【事業の目的・目標】

- 先進的な理数系教育や文理融合領域に関する研究開発を実施している高等学校等を「スーパーサイエンスハイスクール (SSH)」に指定し支援することを通じて、将来のイノベーションの創出を担う科学技術人材の育成を図る。
- 高等学校等の理数系の教育課程の改善に資する実証的資料を得る (学習指導要領の枠を超えた教育課程の編成が可能)。

### 【事業規模】

- 令和6年度指定校数：235校程度 (うち新規：64校程度 (うち認定枠14校程度))
- 指定期間：原則5年
- 支援額：1期目1年目 12百万円/年、1期目2・3年目 10百万円/年、1期目4年目以降 7.5百万円/年 (ただし先導的改革期は、6百万円/年)

### 【取組・支援内容】

- 高大・企業連携による興味関心の喚起、フィールドワーク等による課題研究
- 海外の高校・大学等との連携による国際的に活躍する意欲・能力の育成、社会貢献等
- 探究・STEAM教育を推進するため、希望する管理機関にコーディネーターを配置 (20機関程度)

### 【重点枠】

- ・ 指定期間：最長5年、支援額：年間3～30百万円
- ・ 重点枠数：14校+1コンソーシアム (うち新規：5校+1コンソーシアム)

○SSH指定校の中で、さらに、以下の取組を行う学校を重点枠として追加支援。

#### <高大接続>

高大接続による一貫した理数系トップレベル人材育成プロセスの開発・実証。

#### <広域連携>

SSHで培ったカリキュラムや指導法、ネットワークなどを都道府県レベル又はそれ以上の広域に普及することにより、地域全体の理数系教育の質の向上を図る。

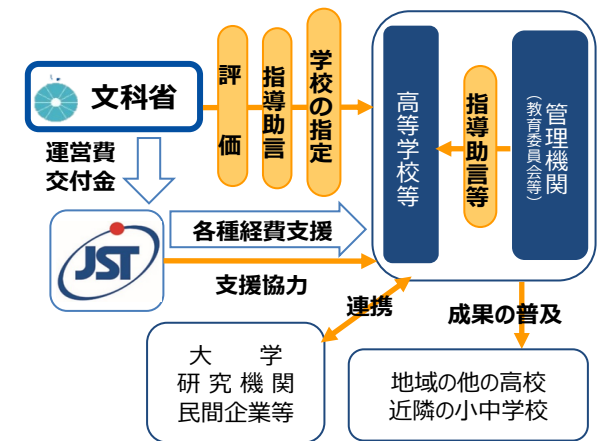
#### <海外連携>

海外の研究機関等と定常的な連携関係を構築し、国際性の涵養を図るとともに、将来、言語や文化の違いを越えて共同研究ができる人材の育成を図る。

#### <革新共創>

社会問題・地域課題について、NPO法人・企業等との連携や、先端的な科学技術の知見やデータサイエンスの手法等を活用しながら、文理横断的な領域も含めた科学的な課題研究を行うことにより、新たな価値の創造を志向する人材の育成を図る。

※先導的改革期・認定枠の指定校も全重点枠に申請可・同額支援



## これまでの成果

- **学習指導要領改訂**：高等学校学習指導要領 (令和4年度から年次進行で実施) において、科目「理数探究基礎」「理数探究」を新設 (共通教科「理数」)。
- **科学技術への興味関心や姿勢の向上、進路選択への影響** (スーパーサイエンスハイスクール意識調査結果より)
- **SSH卒業生の国内外での活躍**
- **科学技術コンテスト等における活躍**：国際科学オリンピック国内大会参加者の約3分の1、ISEF (課題研究型国際コンテスト) に出場した日本代表生徒の約5割がSSH指定校生徒。

(担当：科学技術・学術政策局人材政策課)